

1 各所共通

番号	項目	備考
1	3月行事予定表	

2 木曾地域振興局

番号	項目	担当課
1	令和8年度木曾地域農業入門講座の受講生を募集します	農業農村支援センター

3 上松技術専門校

番号	項目	担当課
1	令和8年度入校式を行います	—

4 長野県立病院機構

番号	項目	担当課
1	信州木曾看護専門学校令和8年度入学生（第13期生）の入学式を行います	信州木曾看護専門学校

5 木曾地域広域連携推進会議 学びの場環境整備部会

番号	項目	担当課
1	木曾地域の学びの環境に関するアンケート調査結果を取りまとめました	—

令和8年4月 行事予定表

木曾地域長野県関係機関

日	曜	時 間		行 事 内 容	場 所	担当課名	資料
1	水						
2	木						
3	金						
4	土						
5	日						
6	月						
7	火	13:00	～ 14:40	令和8年度入学生 入学式	信州木曾看護専門学校 3階アリーナ	信州木曾看護専門学校	○
8	水						
9	木	10:00	～ 10:50	令和8年度入校式	上松技術専門学校 体育館	上松技術専門学校	○
10	金						
11	土						
12	日						
13	月						
14	火						
15	水						
16	木						
17	金						
18	土						
19	日						
20	月			令和8年度木曾地域農業入門講座受講生募集期限		農業農村支援センター	○
21	火						
22	水	10:00	～	定例記者会	木曾合同庁舎401・402会議室	総務管理・環境課	
23	木						
24	金						
25	土						
26	日						
27	月	10:00	～ 11:30	令和8年度木曾地域農業入門講座開講式	木曾合同庁舎403会議室	農業農村支援センター	○
28	火						
29	水						
30	木						

※担当課名 県税： 中信県税事務所木曾事務所
 保福： 木曾保健福祉事務所
 建設： 木曾建設事務所

※ 上記について、都合により日程が変更になる可能性があります。

令和8年度木曾地域農業入門講座の受講生を募集します

定年退職者や移住者、子育てが一段落された方などで、農業を始めたい方や農業に興味がある方などを対象とした農業入門講座を開催します。

1 主催

木曾地域就農プロジェクト協議会（町村、JA 木曾、木曾農業農村支援センター等）

2 開催期間

令和8年（2026年）4月27日（月）から10月まで

3 場所

木曾合同庁舎や木曾郡内の畑など

4 講座内容

- （1）農作業安全、農薬の使い方、鳥獣害対策、土づくりの座学講座
- （2）木曾郡内の先輩農家さんの畑見学などの現地講座
- （3）郡内町村やJA 木曾が企画する農業実習・体験への参加をご案内

5 定員

なし

6 受講料

無料

7 募集期限

令和8年（2026年）4月20日（月）まで

（申込状況によって期限を短縮または延長する可能性あり）

8 申込・問合せ

木曾農業農村支援センター 技術経営普及課

電話：0264-25-2230 FAX：0264-22-4346 メール：kiso-aec@pref.nagano.lg.jp

開講式日時・場所

- （1）日時 令和8年（2026年）4月27日（月）午前10時00分から午前11時30分
- （2）場所 木曾合同庁舎4階 403会議室（木曾町福島2757-1）

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0
～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)
長野県木曾農業農村支援センター
技術経営普及課 木船
電話：0264-25-2230（直通）
FAX：0264-22-4346
Email：kiso-aec@pref.nagano.lg.jp

※すでにプレスリリース済みですが、
改めてお知らせします。

資料【3-1】



長野県(上松技術専門校)プレスリリース 令和8年(2026年)2月27日

令和8年度入校式を行います

令和8年度長野県上松技術専門校の入校式を下記の日程で行いますので
お知らせします。

- | | |
|----------|--|
| 1 日時 | 令和8年4月9日(木)
午前10時から10時50分まで |
| 2 場所 | 上松技術専門校 体育館(ひのきホール) |
| 3 次第 | 開式のことば
入校許可
校長式辞
来賓祝辞
祝電・メッセージ披露
宣誓
職員紹介
閉式のことば |
| 4 入校予定者数 | 木工科 20名、木材造形科 20名 計40名 |



◆生産性の高い県づくり
郷学郷就の産業人材育成・
確保を目指してハロートレー
ニング実施中

(問合せ先)

〒399-5607

長野県木曾郡上松町大字小川 3540

長野県上松技術専門校

担当 宮坂

電話 0264-52-3330

FAX 0264-52-2079

電子メール: agemagisen@pref.nagano.lg.jp

令和7年度 長野県上松技術専門校 修了生の状況

1 修了者数	木工科	17名
	木材造形科	20名
	計	37名

2 就職状況

(令和8年3月18日現在)

区分 科	訓練 課程	定員	入学 者数	中退 者	修了者の内訳							修了者の就職等内訳					雇用・自営等の就職先				就業率 (%)				
					修了者	性別		出身地			就職者	雇用 者	自営 等	その他	未 定	県内			県外						
						男	女	県内	うち 郡内	県外						うち 郡内	うち 県外 出身者	うち 郡内	うち 県外 出身者						
																				就業		うち 郡内	うち 県外 出身者		
木工科	普通	20	17	3	(2)	17	14	3	4	(0)	13	15	14	(13)	1	(1)	0	2	5	(0)	2	(0)	10	10	88.2%
木材造形科	普通	20	20	0	(0)	20	13	7	6	(1)	14	17	16	(13)	1	(1)	0	3	8	(4)	3	(2)	9	8	85.0%
計		40	37	3	(2)	37	27	10	10	(1)	27	32	30	(26)	2	(2)	0	5	13	(4)	5	(2)	19	18	86.5%



信州木曾看護専門学校令和8年度入学生（第13期生） の入学式を行います

信州木曾看護専門学校の第13期生となる令和8年度入学生の入学式を下記のとおり開催しますので、お知らせします

1 日 時 令和8年4月7日（火） 13時30分から14時40分頃まで

2 場 所 信州木曾看護専門学校 3階 アリーナ
木曾郡木曾町新開 4236

3 入学生 19名

4 式次第

- （1）開式の辞
- （2）入学生紹介 入学許可
- （3）学校長式辞
- （4）来賓祝辞
- （4）入学生を迎えることば
- （5）入学生の誓いのことば
- （6）閉式の辞



長野県立病院機構信州木曾看護専門学校
（副学校長）横川
（事務長）田中

電 話 0264-24-0020

F A X 0264-22-4070

E-Mail kikoukango@pref-nagano-hosp.jp

木曾地域の学びの環境に関する アンケート調査結果を取りまとめました

木曾地域広域連携推進会議 学びの場環境整備部会では、木曾地域における子どもたちの学びの環境に関し、保護者及び教職員を対象としたアンケート調査を実施し、調査結果を取りまとめましたので、お知らせします。

■調査の目的

子どもを取り巻く学びの環境整備のための広域連携を推進するにあたり、現場の教職員や保護者など多様な関係者の意見を幅広く収集し、学びの環境に関する課題やニーズを把握することで、今後の具体的取組みの検討基礎資料とする。

■調査実施期間

令和7年12月～令和8年1月

■調査対象

木曾郡内の小・中学校保護者及び小・中学校教職員

■調査方法

学校経由で、アンケート調査の依頼通知を配布し、オンラインフォーム（QRコード・URL）により回答

■回答状況

保護者アンケート

339件【回答率：25.9%（対象児童・生徒数 1,310人を分母として算出）】

※世帯数による回答率は算出していない。

教職員アンケート：

128件【回答率55.4% 対象者数231人】

■公表資料

調査結果等の詳細については、木曾地域振興局公式ホームページをご覧ください。

URL：<https://www.pref.nagano.lg.jp/kisoichi/somu-kankyo/manabinokankyo.html>

<問合せ先>

担 当 長野県木曾地域振興局 大日方
電 話 0264-25-2211(直通)
0264-24-2211(代表) 内線 2302
F A X 0264-23-2583
E-mail kisoichi-somu@pref.nagano.lg.jp

担 当 木曾地域広域連合総務課 吉村
電 話 0264-23-1050
F A X 0264-23-1052
E-mail soumu@union.kiso.lg.jp

学びの環境に関するアンケート調査 結果報告書（概要版）

木曾地域広域連携推進会議学びの場環境整備部会
令和8(2026年)年3月

第1章 調査概要

1 調査の目的

子どもを取り巻く学びの環境整備のための広域連携を推進するにあたり、現場の教職員や保護者など多様な関係者の意見を幅広く収集し、学びの環境に関する課題やニーズを把握することで、今後の具体的取組みの検討基礎資料とする。

2 調査実施期間

令和7年12月～令和8年1月

3 調査対象・調査方法

学校経由でQRコード・URLによるオンライン回答

- 保護者アンケート：木曾郡内の小・中学校保護者
- 教職員アンケート：木曾郡内の小・中学校教職員

4 回答状況

- 保護者アンケート：339件【回答率：25.9%（対象児童・生徒数1,310人）】
※世帯数による回答率は算出していない
- 教職員アンケート：128件【回答率55.4% 対象者数231人】

※ 児童・生徒数、教職員数は令和7年度学校基本調査数値

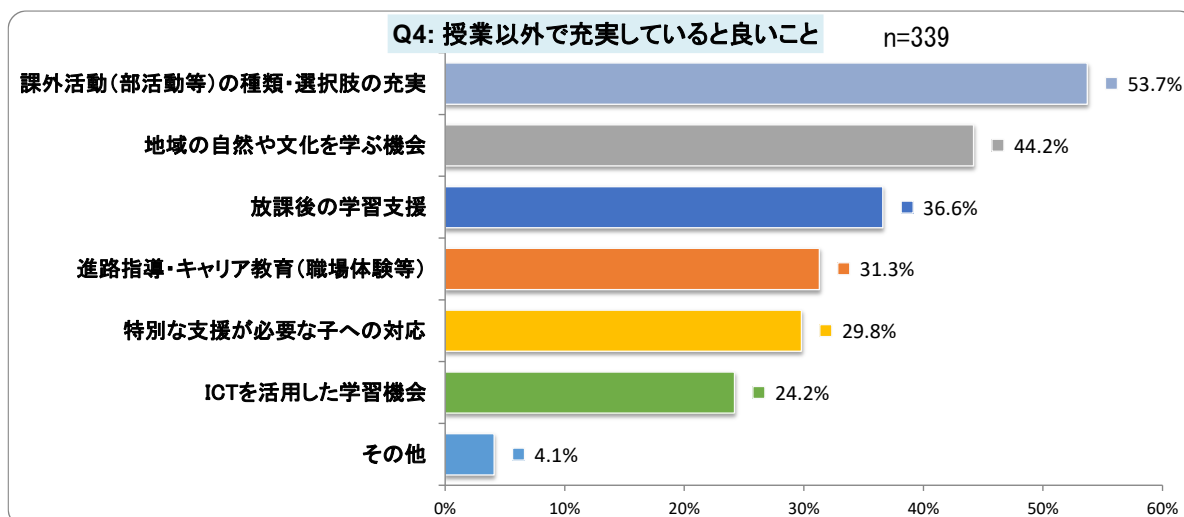
第2章 保護者アンケート結果（抜粋）

木曽郡6町村の小・中学校保護者を対象に実施し、339件の回答を得た。対象児童・生徒総数1,310人に対する回答率は25.9%であった。

2-2 子どもの学びの環境について（報告書 P2）

Q4 学校の授業以外で充実していると良いこと（複数回答）

授業以外で充実していると良いこととして、「課外活動（部活動等）の種類・選択肢の充実」が53.7%で最も多く、次いで「地域の自然や文化を学ぶ機会」が44.2%、「放課後の学習支援」が36.6%となっている。

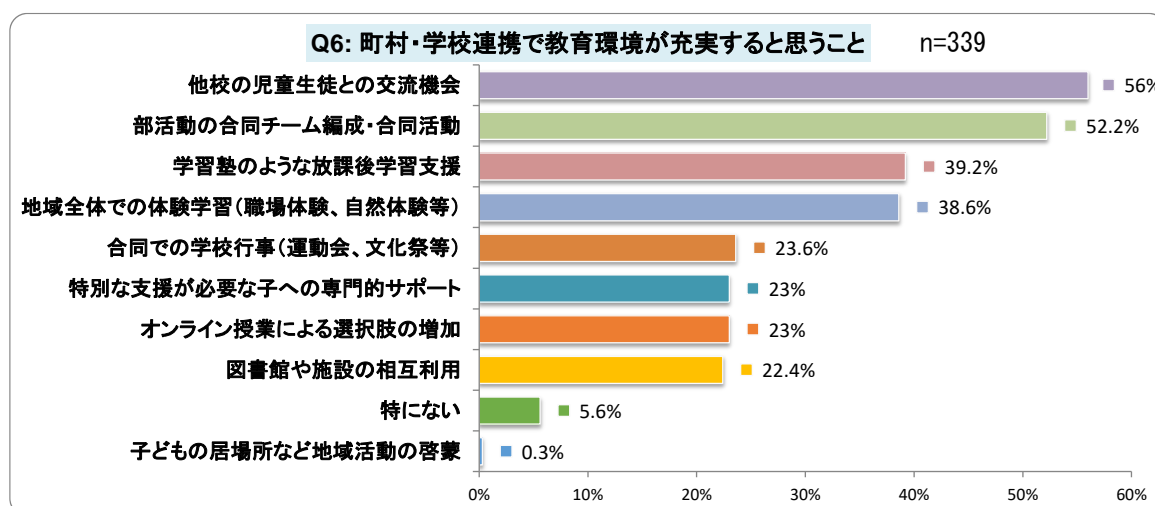


「その他」の主な内容：現状充実している、他校との交流、交通手段の充実、学童・第三の居場所など

2-3 広域連携による教育環境の充実について（報告書 P4）

Q6 複数の町村・学校連携で教育環境が充実すること（複数回答）

広域連携により教育環境が充実することとして、「他校の児童生徒との交流機会」が56.0%で最も多く、次いで「部活動の合同チーム編成・合同活動」が52.2%、「学習塾のような放課後学習支援」が39.2%となっている。

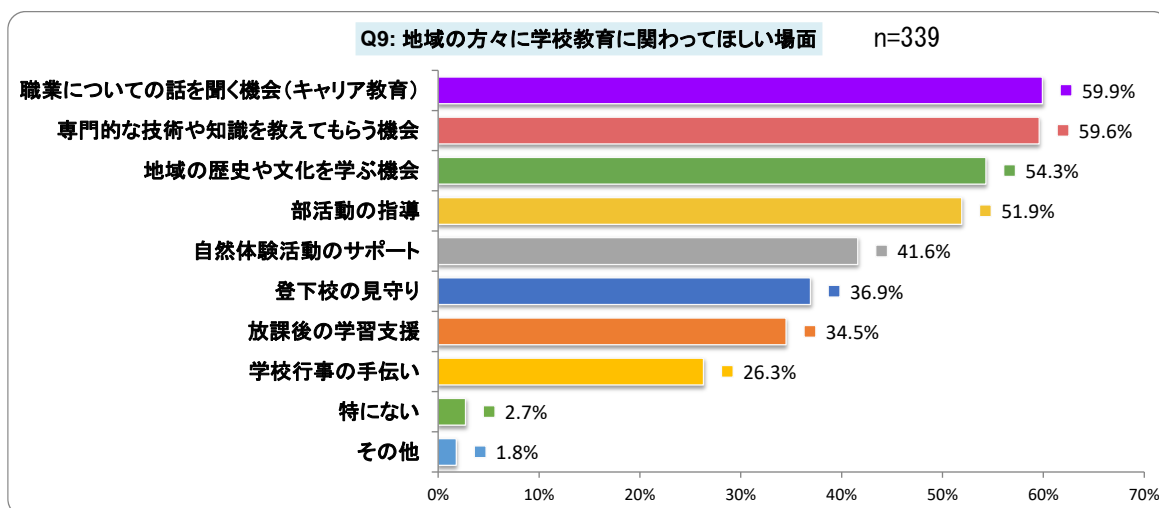


2-4 地域との連携について (報告書 P5)

地域の大人や企業が学校教育に関わることについては、「内容によっては関わってほしい」、「積極的に関わってほしい」合わせて95.6%と、肯定的な回答となっている。

Q9 地域の方々に学校教育に関わってほしい場面 (複数回答)

地域の方々に関わってほしい場面として、「職業についての話を聞く機会(キャリア教育)」が59.9%で最も多く、次いで「専門的な技術や知識を教えてもらう機会」が59.6%、「地域の歴史や文化を学ぶ機会」が54.3%となっている。



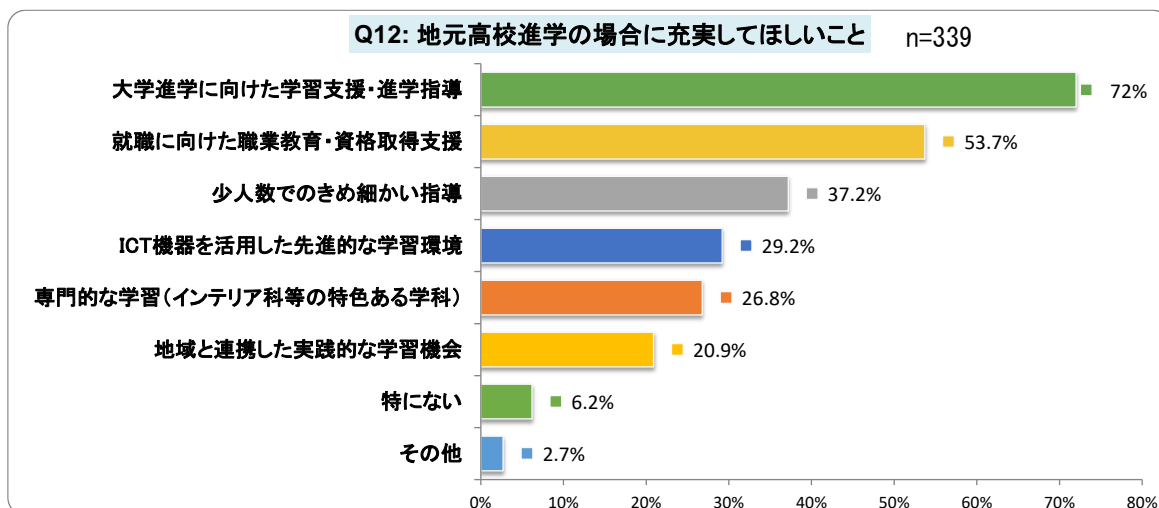
「その他」の主な内容：学校・通学路の環境整備、休日、地域文化の継承、多様な関わり方があるなど

2-5 地元高校への進学について (報告書 P6)

高校進学については、「子どもの希望を尊重する」が65.8%で最も多く、「できれば地元の高校に進学してほしい」が16.5%、「地元以外の高校への進学を考えている」が12.4%となっている。

Q12 地元高校進学の場合に充実してほしいこと (複数回答)

地元高校で充実してほしいこととして、「大学進学に向けた学習支援・進学指導」が72.0%で最も多く、次いで「就職に向けた職業教育・資格取得支援」が53.7%、「少人数でのきめ細かい指導」が37.2%となっている。



「その他」の主な内容：地域特性を活かした学習、全国レベルの学習、総合型選抜受験を見越した地域活動の充実・コミュニティスクールの構築など

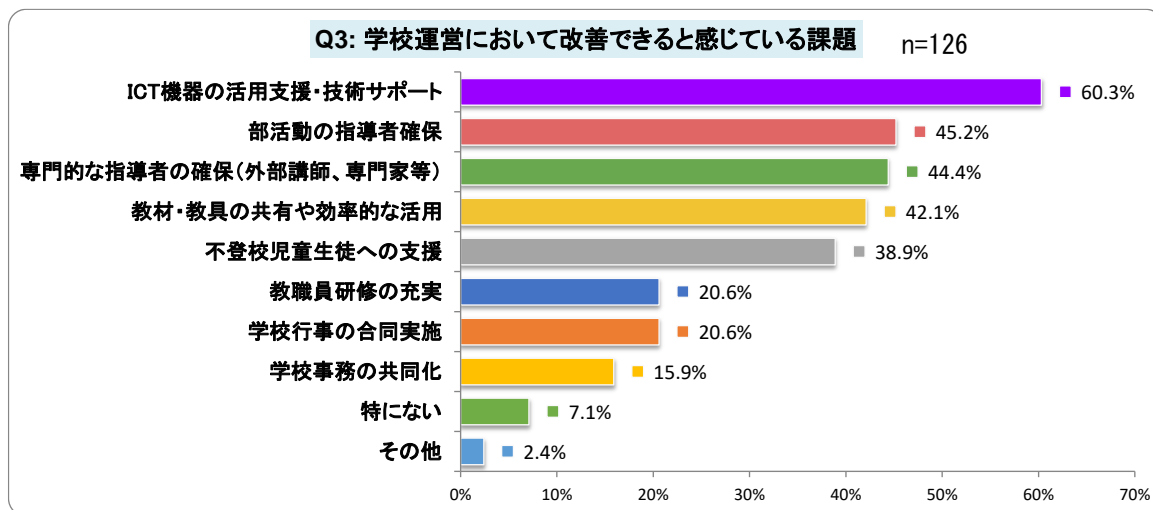
第3章 教職員アンケート結果（抜粋）

木曽地域の小・中学校教職員を対象に実施し、128件の回答を得た。対象者総数231人に対する回答率は55.4%であった。

3-2 広域連携による支援ニーズについて（報告書 P9）

Q3 学校運営で町村・学校連携や地域支援により改善できると感じている課題（複数回答）

学校運営の課題として、「ICT機器の活用支援・技術サポート」が60.3%で最も多く、次いで「部活動の指導者確保」が45.2%、「専門的な指導者の確保（外部講師、専門家等）」が44.4%となっている。

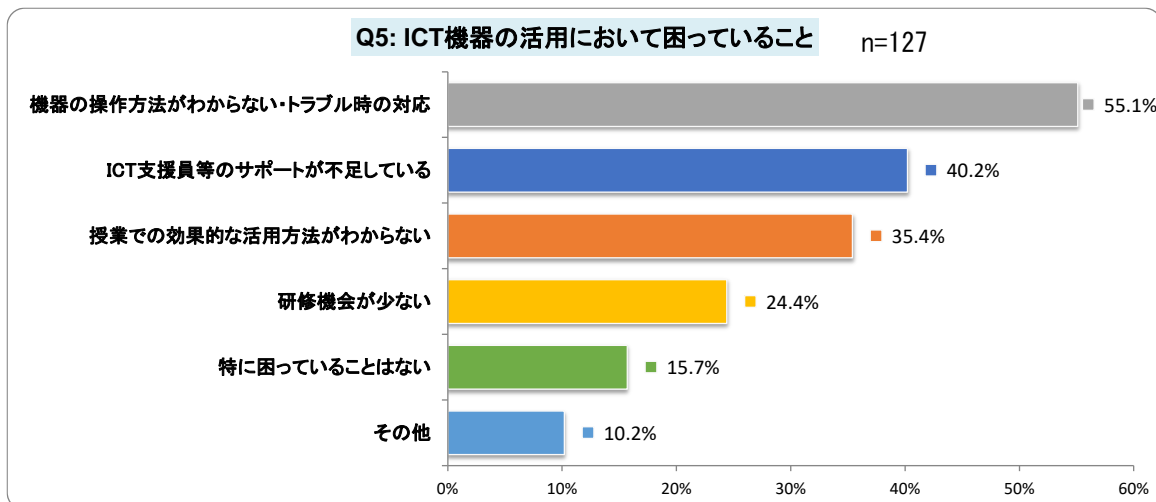


「その他」の主な内容：特別な支援を必要とする児童・家庭のサポート、教職員の増

3-3 ICT活用について（報告書 P11）

Q5 ICT機器の活用において困っていること・不安に感じていること（複数回答）

ICT活用の困りごととして、「機器の操作方法がわからない・トラブル時の対応」が55.1%で最も多く、次いで「ICT支援員等のサポートが不足している」が40.2%、「授業での効果的な活用方法がわからない」が35.4%となっている。

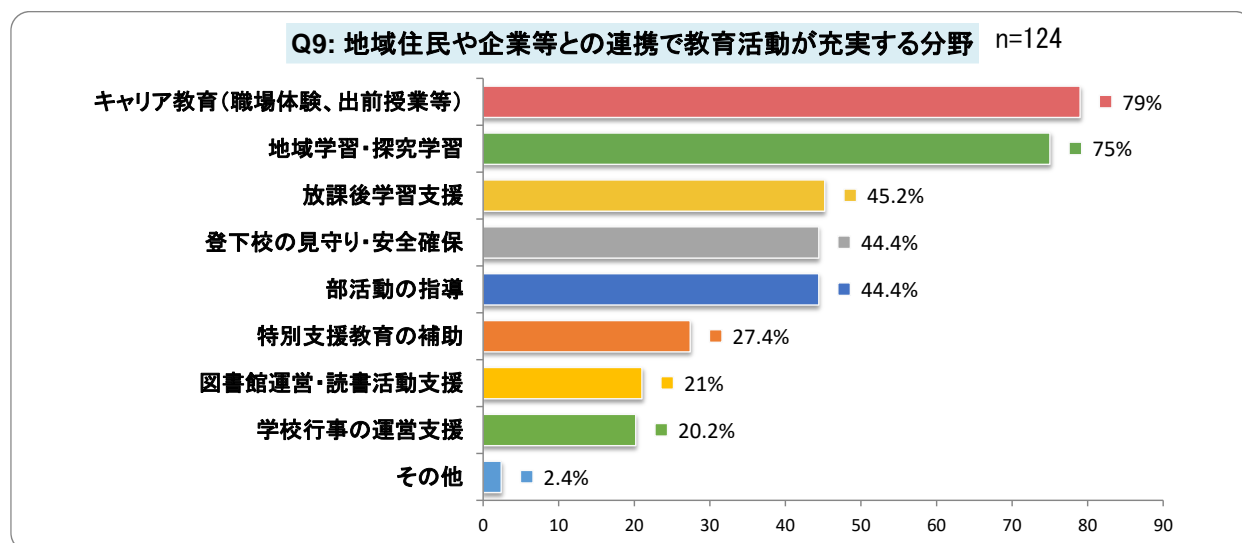


「その他」の主な内容：相談窓口がわからない、端末・OS変更時の事前情報不足、子どものタブレット適正利用に関する指導、ICT活用環境の整備など

3-5 地域との連携について (報告書 P12)

Q 9 地域住民や企業等との連携で教育活動が充実すると思われる分野 (複数回答)

地域連携で充実すると思われる分野として、「キャリア教育(職場体験、出前授業等)」が79.0%で最も多く、次いで「地域学習・探究学習」が75.0%、「放課後学習支援」が45.2%となっている。



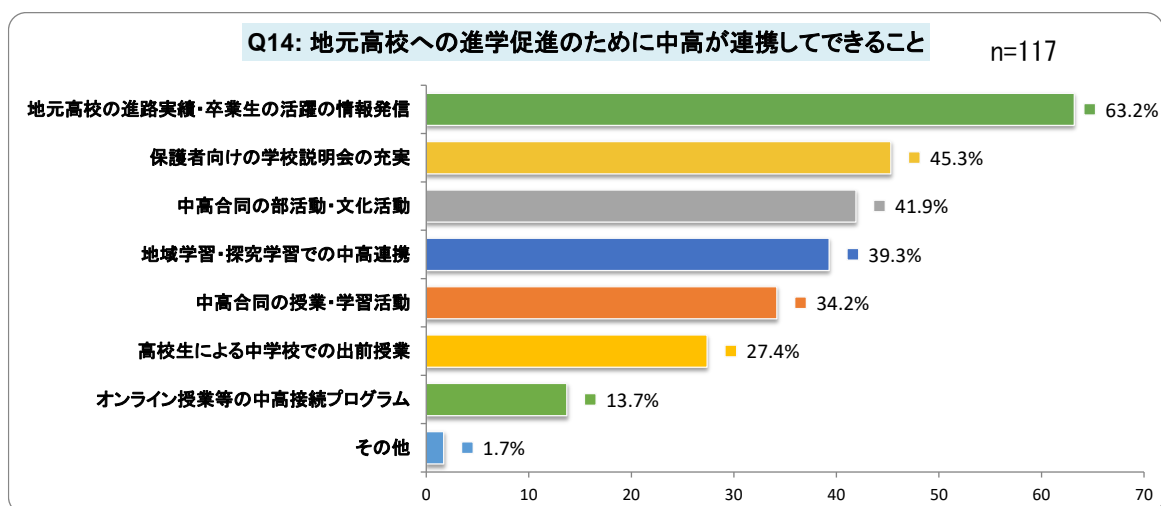
「その他」の主な内容：不登校児支援、教科活動など

3-7 地元高校への進学について (報告書 P15)

地元以外への進学理由として、「生徒自身が地元以外の高校を希望している」が77.6%で最も多く、次いで「地元高校の進学実績への不安」が40.8%、「部活動の選択肢が少ない」が40.0%となっている。

Q14 地元高校への進学促進のために中高が連携してできること (複数回答)

中高連携でできることとして、「地元高校の進路実績・卒業生の活躍の情報発信」が63.2%で最も多く、次いで「保護者向けの学校説明会の充実」が45.3%、「中高合同の部活動・文化活動」が41.9%となっている。



「その他」の主な内容：他地域からの生徒確保

第4章 調査結果の総括と提言（要約）

4-1 主要な調査結果（報告書 P18）

学びの環境整備に向けた広域連携の推進について、主要な結果を5つの観点から総括します。

1 部活動の広域連携と地域移行（展開）の推進

保護者・教職員双方で部活動に関する課題・ニーズが高く、保護者の53.7%が「課外活動の選択肢の充実」を期待する一方、教職員側では「部活動の指導者確保」（45.2%）が課題に挙げられ、移手段の不足やチーム編成の困難など、現場の課題も明らかになった

2 ICT活用支援体制の整備

教職員の60.3%が「ICT機器の活用支援・技術サポート」を最優先課題として挙げており、操作技術・活用方法の両面での支援ニーズが高い。

3 地域連携による多様な学びの機会創出

保護者の95.6%が地域の大人や企業の教育参加に肯定的であり、保護者・教職員とも「キャリア教育」（保護者59.9%・教職79.0%）や「地域学習・探究学習」（教職員75.0%）へのニーズが特に高い。

4 学習支援と多様な子どもの居場所づくり

「放課後学習支援」に対するニーズが保護者(36.6%)・教職員(43.8%)双方で確認されており、不登校や特別支援が必要な子どもへの対応も課題として浮かび上がっている。

5 地元高校の魅力向上と進学・就職のサポート体制

地元高校に「大学進学支援」（72.0%）や「職業教育・資格取得支援」（53.7%）の充実を求める声が多い一方で、「進学実績への不安」や「部活動の選択肢の少なさ」も挙げられており、地元高校の魅力向上が喫緊の課題となっている。

4-2 提言（報告書 P20）

今後の広域連携による取組みを以下の3つの方向性で整理し、関係機関の主体的な取組を尊重しつつ、必要に応じて情報提供や意見整理を行っていきます。

【方向性1】町村や広域連合、県等における主体的な検討の深化

「部活動の広域連携と地域移行（展開）の推進」や「ICT活用支援体制の整備」については町村、県、広域連合において検討が進められていることから、今後は本調査データを基礎資料として活用し、さらに具体的な取組みを推進していくことを提言します。

【方向性2】住民団体・企業との協働による「地域連携推進分科会」の設置

「地域連携による多様な学びの機会創出」や「多様な子どもの居場所づくり」については、「地域連携推進分科会」を設置し、住民団体・企業ほか多様な関係者が、先進事例の調査・研究、モデル事業の実施など、具体的な取組みを進めていくことを提言します。

【方向性3】地元高校と地域振興局・町村との連携による地域全体への啓発と情報発信の強化

「地元高校の魅力向上」は、地域振興局・町村と連携し、既存のイベントや広報媒体を活用し、発信の機会を増やし、保護者・生徒が地元高校を前向きに選択できる環境づくりを推進することを提言します。

① 部会設置の背景と目的

木曾地域における新たな広域連携体制の構築

- 人口減少社会において地域の持続性を維持・確保するため広域連携の強化が必要
- 町村単独では対応が難しい広域的な課題に取り組むため、6町村と県が緊密に連携
- 県のイニシアティブにより、町村間の連携や県の支援・補完による地域の実情に即した新たな広域連携のあり方を検討

H28年度 木曾地域広域連携推進会議の設置(H28.6.10)

- ◆構成
町村長、広域連合事務局長、地域振興局長、保健福祉事務所長、建設設事務所長（事務局：地域振興局）
- ◆事務レベルによる専門部会を設置
公共交通部会、移住・交流部会を設置

R6年度 広域連携推進体制を強化

- ◆長野県知事が特別顧問、広域連合長は会長、局長：副会長兼幹事長
- ◆県市町村課・地域振興課を 幹事会構成員に追加
- ◆個別案件は専門部会を設置し検討(R6年9月)

(1)広域連携体制検討部会	(5)専門職確保部会
(2)公共交通部会	(6)学びの場環境整備部会
(3)広域観光部会	(7)公共施設・公共的機関連携部会
(4)移住・交流部会	

② 部会の位置づけ・プラットフォーム型連携体制の構築

学びの場環境整備部会

現状把握や全体の課題整理、対応の方向性の検討、分科会設置後の情報共有等を行う

- 【部会長】 木曾地域振興局副局長
- 【構成員】 町村、町村教育委員会、木曾郡学校長会、
中信教育事務所、木曾地域振興局、木曾広域連合
- 【事務局】 木曾地域振興局、木曾広域連合

検討状況
の共有

- ・事例研究や対応策を具体化する**担当者レベル**の分科会を設置
- ・テーマに応じ、**企業や保護者、住民等様々な関係者が参加**

分科会A

分科会B

分科会C

- 継続的検討の場を設け、地域の学びに関する課題への対応策や新たな取り組みを推進
- 多様な関係者の連携により、子どもたちに多様な学びの機会を創出、「木曾で学んでよかった」と実感できる学びの環境づくりを目指す

③ 令和7年度検討経過

- R7年7月17日 町村長・教育長による意見交換会
→「幅広く関係者から意見を聴取すべき」との意見を受け、アンケート実施を決定
- R7年10月3日 第1回 部会開催
部会の目的・位置づけの共有、アンケート実施内容協議
- **R7年12月 ~ R8年1月 保護者・教職員アンケート実施**
- R8年3月3日 第2回 部会開催
アンケート結果の共有と今後の取組み方向性を協議

④ 保護者・教職員アンケート調査の実施

- 1 調査の目的
子どもを取り巻く学びの環境整備のための広域連携を推進するにあたり、現場の教職員や保護者など多様な関係者の意見を幅広く収集し、学びの環境に関する課題やニーズを把握することで、今後の具体的取組みの検討基礎資料とする。
- 2 調査実施期間
令和7年12月～令和8年1月
- 3 調査対象
木曾郡内の小・中学校保護者、教職員
- 4 回答状況
保護者:339件、教職員:128件

⑤ アンケート調査結果概要

■5つの観点(課題)

1 部活動の広域連携と地域移行(展開)の推進
保護者の53.7%が部活動の選択肢充実を要望。
52.2%が広域連携による合同チームに期待。

2 ICT活用支援体制の整備
教職員の60.3%がICT活用支援を最優先課題と回答。
町村間格差も課題。

3 地域連携による多様な学びの機会の創出
保護者の95.6%が地域連携に肯定的。
(キャリア教育・専門技術・歴史文化等)

4 学習支援と多様な子どもの居場所づくり
保護者の36.6%が放課後学習支援の充実を要望。
「第三の居場所」確保

5 地元高校の魅力向上
大学進学指導(72.0%)・職業教育充実(53.7%)を要望。
中高連携による進路実績等の情報発信。

■提言(3つの方向性)

【方向性1】**町村・広域連合・県等における検討の深化**
アンケート調査結果を活用し、各機関が具体的取組みを推進
・部活動地域移行(展開)
・ICT活用環境の整備
・学習支援

【方向性2】**「地域連携推進分科会」の設置**
住民団体・企業等多様な関係者との検討の場を設置
・地域連携による多様な学びの機会の創出
・多様な子どもの居場所づくり

【方向性3】**地元高校と地域振興局・町村との連携による地域全体への啓発と情報発信強化**
既存イベントや広報媒体を活用し、情報発信を強化
・地元高校の魅力向上

■令和8年度以降の取組み

3つの方向性に基づき、関係者が主体的に検討を深化、取組みを推進
住民団体・企業等による「地域連携推進分科会」において、調査研究・モデル事業など具体化

令和8年4月 町村行事予定表

日	曜	時 間		町村名	行 事 内 容	場 所	担当課名	資料
1	水	9:00	～ 10:00	木曽町	令和8年度辞令交付式	木曽町役場本庁大会議室	総務課	
		10:00	～ 18:00	木曽町	「なぞとき！絵本たんけん」企画～4/19まで	木曽町図書館	木曽町図書館	○
2	木							
3	金							
4	土	11:00	～ 11:20	木曽町	ボランティアおはなし会	木曽町図書館	木曽町図書館	
		8:30		南木曽町	チャレンジクラブ結団式	社会体育館	チャレンジクラブ事務局	
5	日	13:00	～ 15:40	木曽町	木曽町消防団辞令交付式	木曽文化公園	総務課危機管理室	
		13:00	～	上松町	令和7年度上松町消防団編成式	上松小学校校庭 (雨天時:上松町社会体育館)	危機管理課	
		11:30		南木曽町	南木曽町消防団入団式	社会体育館	総務課	
6	月			木曽町	福島・日義・開田・三岳 小学校入学式 ※	各校	子育て教育課	
		10:00		南木曽町	南木曽小学校入学式	小学校体育館		
		14:00		南木曽町	南木曽中学校入学式	中学校体育館		
7	火	午後		木曽町	木曽町中学校入学式 統合式	各校	子育て教育課	
		9:30		南木曽町	蘇南高等学校入学式	蘇南高校体育館		
8	水			木曽町	木曽・日義・開田・三岳 こども園入園式 ※	各こども園	子育て教育課	
9	木							
10	金							
11	土	9:00		南木曽町	なぎそミツバツツジ祭り	天白公園	産業観光課	
12	日							
13	月							
14	火							
15	水							
16	木							
17	金							
18	土	9:00	～ 15:00	木曽町	木曽福島春の蔵開き	木曽福島市街地 他	建設農林課	
		10:50	～ 11:10	木曽町	絵本専門土おはなし会	木曽町図書館	木曽町図書館	
19	日							
20	月							
21	火							
22	水							
23	木							
24	金							
25	土	10:00	～ 17:00	木曽町	木曽馬展示会～5/25まで	木曽町図書館	木曽町図書館	
				南木曽町	名城大学デイハイク	町内		
26	日							
27	月							
28	火							
29	水							
30	木							

※.時間は各園・各校で異なりますので、詳しくは個別にお問い合わせください。

なぞとき！

絵本

たんけん

3/25

4/19

フリースペースに、なぞとき・推理の絵本や児童書をおつめます！

ドキドキわくわくのナゾに出会いませんか？

展示場所：木曾町図書館内 フリースペース・絵本コーナー

関連企画

なぞとくにチャレンジ！

絵本コーナーをたんけんしながら、なぞとくにチャレンジしよう！

★かんたん：5歳くらい～

★チャレンジ：小学3年生～大人まで

図書館カードをお持ちでナゾがとけた方には、参加賞をプレゼント！

チャレンジしたい方は、スタッフにお声がけください。

（図書館カードをお持ちでない方は、カウンターでカード発行をお申し込みください。マイナンバーカードなどの公的身分証明書が必要です）

イベント開催日

○ のついている日に行います

3

2026

March

日	月	火	水	木	金	土
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4

2026

April

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25

住民参加型 グループワークのご案内

各戸配布

みんな集まれ！ 第3回

学校創りミーティング

テーマ

新しい学校創りのスローガンを作ろう！

日時 令和8年3月30日(月) 18時00分～

場所 木祖村民センター ホール

参加 どなたでもご参加できます

おとなも子どもも一緒になっ
て話し合おう！あなたの意見
が未来を創ります。

新しい学校のスローガンを
みんなで考えよう！

どんな目標を持てば、楽しく
学校に通えるかな。キーワー
ドを組み合わせるスローガン
を作ってみよう。

第3回学校創りミーティングの内容は？詳しくは裏面をご覧ください。

みんな
で考えよう！
木祖村の
未来の学
校

第1回、第2回では木祖村のこれからの学校づくり、学校教育のあり方を村民一丸となって考え合う住民参加型のグループワークを開催することができました。第3回のテーマ「新しい学校のスローガンを作ろう！」では、学校創りミーティングで挙げられた内容から新しい「スローガン」を考えます。スローガン作りで使用する「キーワードカード」を組み合わせ、「新しい学校のスローガン」を一緒に想像して作ってみましょう。

「キーワードカード」をどうやって使うの？

キーワードカードを組み合わせよう

用意された数種類のキーワードカードを組み合わせ「スローガン」を作りましょう。キーワードカードはこれまでのグループワークで挙げられた内容が元になっています。どんなワードが挙げられたか改めて見ていきながら、子どもたちにとって目標となる言葉を子どもも大人も一緒に考えてみましょう。

ふるさとへの思い

地域資源

自然

多様な体験

五感で学ぶ

挑戦

多世代

伝統文化

考える力
聞く力



配られる「キーワードカード」を組み合わせ「スローガン」を作ってみよう。短い文でも長い文でもOKです。
新しい学校の目標になる言葉を選ぼう！

選んで
並べて

今ある木祖小・木祖中学校のスローガンも参考にして考えてみよう。



例えば

多様な体験

+

五感で学ぶ

+

挑戦

=

多様な体験を
五感で学び、
挑戦しよう！

出来た！

そのほかにも、キーワードカードを使ってグループワークで聞き合い・話し合っって・提案していきましょう。ご参加お待ちしております。